

第4回 博物館公募展

「童句の世界」美術展

受賞作品発表

最優秀賞



もり はるえ (狭山市)

作品名: 思い出の陸上部

課題童句: トラックの 土に たんぽぽが
咲いて行く

講評: 課題は車のトラックの事だが、
陸上トラックの情景を表現した
自由な発想と、土手の上からの
タンポポの構図がよい。

優秀賞



勝呂 直義 (所沢市)

作品名: 凧あげ

課題童句: あらそって たこおろす空
雪となる

講評: 和凧の懐かしい凧あげの情景が
よい。お正月頃の様子だろうか
寒い時期だが、暖かい感じのする
作品である。

入賞



鎮守 和世 (兵庫県)

作品名: 遠花火

課題童句: 宿題の まどに ときどき 遠花火

講評: 和紙によるちぎり絵の暖かさと、花火のひろがりがい。鉛筆を鼻に挟んだ子どもの様子が、待ち遠しさをよく表わしている。



小澤 雪江 (所沢市)

作品名: 秋はごちそうさま

課題童句: 雨に鳴く こおろぎに ドア あけてやる

講評: コオロギを家に招き入れて食事をしている様子を、しっかりとした構成と筆致で描かれている。



なぎこ (神奈川県)

作品名: 在りし日の思い出

課題童句: ひなたぼこ しながら母に 髪刈らる
その他4句すべて

講評: 課題童句を1つ1つよく読み込み、アルバムを見ているような表現。丁寧に描かれ、色も綺麗で穏やかにまとまった作品である。

来館者賞



高塚 美也子 (狭山市)

作品名: 秋雨

課題童句: 雨に鳴く こおろぎに ドア あけてやる

講評: スクラッチならではの色合いや、細かい表現が綺麗と来館者から人気であった。

【審査員】 保坂 遊(東京家政大学子ども学部 准教授) 水村 昭(狭山市美術家協会)
(敬称略) 室井 磨美(狭山市教育研究会図工美術部会 部会長) 渡川 誠(狭山童句研究会 会長)